

予算決算委員会総務政策分科会会議録

招 集

令和2年3月13日（金） 議場

出席委員（9名）

（分科会長）門 脇 一 男 （副分科会長）国 頭 靖
石 橋 佳 枝 今 城 雅 子 岩 崎 康 朗 岡 田 啓 介
尾 沢 三 夫 中 田 利 幸 西 川 章 三

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊木市長

伊澤副市長

【総務部】辻部長

永瀬防災安全監

[秘書広報課] 土井課長 頼田シティプロモーション推進室長

[総務管財課] 瀬尻課長 祖田財産管理担当課長補佐

伊藤課長補佐兼情報公開担当課長補佐

[防災安全課] 三木課長 藤谷主査兼危機管理室長 田中地域安全担当課長補佐

[調 査 課] 塚田課長

[職 員 課] 松田課長 矢野課長補佐兼人事担当課長補佐

[財 政 課] 下関課長 足立課長補佐兼総括主計員 大塚主計員

[契約検査課] 石田課長

【総合政策部】八幡部長

黒見人権政策監兼人権政策課長

[総合政策課] 長谷川課長 松本広域行政推進室長

[都市創造課] 若林課長

[交通政策課] 石上次長兼課長 山根担当課長補佐

[情報政策課] 堀口課長

[地域振興課] 奥田次長兼課長 本干尾担当課長補佐 井上自治振興担当課長補佐

[男女共同参画推進課] 河田課長

[人権政策課] 長谷川同和对策担当課長補佐

【淀江振興本部・淀江支所】高橋本部長兼支所長

[淀江振興課] 橋井次長兼課長 坂本振興担当課長補佐

[地域生活課] 宮松課長

【教育委員会事務局】

[生涯学習課] 木下課長

出席した事務局職員

先灘局長 長谷川次長 森井議事調査担当事務局長補佐 佐藤議事調査担当主任

傍 聴 者

安達議員 伊藤議員 稲田議員 遠藤議員 岡村議員 奥岩議員 田村議員

土光議員 前原議員 又野議員 三鴨議員 矢倉議員 矢田貝議員 渡辺議員
報道関係者 6 人 一般 3 人

審査事件

議案第 27 号 令和元年度米子市一般会計補正予算（補正第 4 回）のうち当分科会所管部分

- ・ 議案第 34 号 令和 2 年度米子市一般会計予算のうち当分科会所管部分
- ・ 議案第 36 号 令和 2 年度米子市土地取得事業特別会計予算

~~~~~

### 午前 10 時 33 分 開会

**○門脇分科会長** 予算決算委員会総務政策分科会を開会いたします。

本日は、11 日の本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案 3 件について審査いたします。

初めに、議案第 27 号、令和元年度米子市一般会計補正予算（補正第 4 回）のうち総務部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

下関財政課長。

**○下関財政課長** それでは、議案第 27 号、令和元年度米子市一般会計補正予算（補正第 4 回）のうち、本分科会に付託されました総務部所管の補正予算の主な事業について御説明いたします。

お配りしております令和元年度米子市補正予算書の 29 ページをごらんいただきたいと思います。歳出でございますが、上の表、一般管理費の右端、説明欄 1 行目に一般管理費人件費として 7,815 万 1,000 円を計上しております。これは定年退職者以外に自己都合等により職員が退職すること等に伴うものでございまして、新たに必要となります人件費について措置しようとするものでございます。

続きまして、同じく右端説明欄 2 行目に、原子力安全対策事業として 4,000 万円を計上しております。これは島根原子力発電所に係る原子力防災対策の円滑な実施を図ることを目的として、鳥取県からの交付金を基金へ積み立てるものでございます。説明は以上でございます。

**○門脇分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

〔「なし」と声あり〕

**○門脇分科会長** それでは、ないようですので次に参ります。

次に、議案第 34 号、令和 2 年度米子市一般会計予算のうち総務部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

下関財政課長。

**○下関財政課長** 議案第 34 号、令和 2 年度米子市一般会計予算のうち、本分科会に付託されました議会事務局、総務部会計課、そして農業委員会を除くその他の委員会及び淀江

支所所管の一部の予算のうち、主な事業について御説明いたします。

お配りしております令和2年度当初予算、歳出予算の主な事業の概要の2ページ目をお開きください。まず、2ページ目ですけれども、上の段、本庁舎設備等整備事業といたしまして、2,218万4,000円を計上しております。これは、泡消火器設備改修や福祉事務所部分の空調設備改修、本庁4階、5階のエレベーター付近の内壁改修など、庁舎を適切に維持管理するための整備を行うものでございます。

続きまして、同じく下の段、防災ラジオ整備事業といたしまして、6,330万3,000円を計上しております。これは、高齢者や障がい者などの要配慮者が確実に防災情報を取得できるように、コミュニティFMを活用した自動起動機能つきラジオの貸与等を行うものでございます。

続きまして、3ページ、上の段、スマート窓口システム構築事業といたしまして、7,697万5,000円を計上しております。これは、窓口においでになる方の負担軽減と事務の効率化を図るため、マイナンバーやAIなどICT技術を活用したスマート窓口の構築を行うものでございまして、まずは子育て分野に導入を予定しております。なお、あわせて債務負担行為の設定もしております。

続きまして、4ページ上の段、シティプロモーション推進事業といたしまして、88万9,000円を計上しております。これは、本市の魅力を内外に情報発信するものでございまして、引き続き米子高専と連携した動画作成やマツダスタジアムでのプロモーションを行うほか、庁舎の懸垂幕を活用した情報発信に取り組むこととしております。

続きまして、下の段、つながる深まる米子サポーターメールマガジン活用事業といたしまして、46万2,000円を計上しております。これは、本市の情報発信と関係人口の濃密化を図るため、ふるさと納税や米子ヨネギーズクラブなどで蓄積したデータを活用し、メールマガジンを配信するものでございます。

続きまして、5ページ上の段、あなたに届く指定情報発信事業といたしまして、62万2,000円を計上しております。これは、手軽に市政情報を取得していただくため、スマートフォンのアプリを活用して、広報よなごなどの市政情報を読み上げ機能や翻訳機能のある電子ブックとして発信するものでございます。

続きまして、同じく下の段、米子ゴルフ場整備事業としまして、1,681万円を計上しております。これは、改修が必要な米子ゴルフ場の散水用ポンプユニットなどの改修を行うものでございます。

続きまして、6ページ上の段、米子ゴルフ場環境整備事業としまして、711万3,000円を計上しております。これは、松枯れ被害を抑制するため、被害木の伐採や新たな植樹を行い、ゴルフ場の機能維持を図るものでございます。

続きまして、同じく下の段、旧米子公共職業安定所跡地等購入事業としまして、2,174万9,000円を計上しております。これは、庁舎再編に向けて、旧ハローワークの土地、建物を取得するものでございます。

続きまして、ページが少し飛びますけれども、73ページ上の段、消防ホース乾燥塔改修事業としまして、560万円を計上しております。これは、やぐら式のホース乾燥塔をウインチ式に更新するものでございまして、福米西分団と住吉分団の2カ所を予定しております。

続きまして、同じく下の段、消防団車庫整備事業としまして、3,071万円を計上しております。年次的に建てかえを行っております消防団の活動拠点である消防団車庫を立てかえるものでございまして、来年度は県分団を予定しております。

続きまして、74ページ上の段、消防ポンプ自動車整備更新事業としまして、2,050万5,000円を計上しております。これは、消防団に配備している消防ポンプ自動車を年次的に更新するものでございまして、春日分団の消防ポンプ自動車を更新することとしております。説明は以上でございます。

**○門脇分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様から意見を求めます。

岡田委員。

**○岡田委員** まず、3ページのスマート窓口システム構築事業ということで7,697万5,000円計上しておられるんですけども、これは次年度以降も引き続き投資していくということなんですけど、もともとどの程度のものを想定しておられて、令和2年度にこの7,600万っていうのを、何がしっていうのを計上されたのかっていうところと、あと、この事業効果っていうところで、市の業務の効率化が期待できるというふうに記述があるんですけども、市の業務の効率化というのは、これを導入されることによって、例えば職員が3人でやっておられたものが2人でできるようになりますよというようなことなのか、その具体的な部分っていうのはどういった形になるのか、お聞かせ願えますでしょうか。

**○門脇分科会長** 塚田調査課長。

**○塚田調査課長** では、お答えいたします。まず、1点目でございます。本年度の7,600万余りの予算でございますが、これは当初予定をしております子育て分野のシステムの構築費用でございます。それと、2点目の導入の効果ということでございますが、これはシステム構築に当たって、業務の工程の洗い出しや、そういうものをしていきます。その中で、あわせて業務にRPAを導入したり、そういう作業も進めていきます。それと、そういうようなことによりまして、一度に大量に処理をするような申請書の受け付けや、そういうものについては、かなり効率化をされるのではないかと。ただ、具体的にこれが幾らあるということは、今時点でなかなか算出するようなことはちょっと難しいところはございますが、そういった効果は作業にあわせて得られるものだというふうに考えております。以上でございます。

**○門脇分科会長** 岡田委員。

**○岡田委員** 言われることはわかるんですけども、もう少し、今の時点ではなかなかというふうにおっしゃるんですけども、当然ですけども予算審議していく上で、ある程度こういう形になりますよというものが多少具体的なものが出てこない、業務が効率化できるはずですよということだけではなかなか審議できない部分もありますので、もう少し突っ込んだデータっていうのが欲しいなっていうのが正直なところです。

あと、子育て分野に関してということなんですけれども、これを投資することによって、例えば次の業務が物すごく、ある程度少ない投資でできていくのか、どの分野までこのシステムを広げていくのか。こういう情報投資っていうのが、私もちょっと不勉強だっていうところもありまして、つかみづらいところがありまして。毎年こういった類いの情報投

資、結構しておられると思うんですけど、そのあたりが、大きな枠組みの中で、今これを投資をしてるんですよというようなものが、やはりある程度もう少し具体的にわかると、もう少し審議しやすいなというのがあるんですけども、そのあたりで何か説明していただける部分があるならお願いしたいと思います。

**○門脇分科会長** 塚田調査課長。

**○塚田調査課長** 令和2年度につきましては、子育て分野ということで、これは実は今年度着手をしております、国補助を受けて着手をしておりますが、子育て分野のこういった業務のいわゆるモデリング、先ほどの業務の洗い出しを行いまして、それをシステム構築につなげていくような作業を今、補助事業を受けてやっておりますが、これをベースにして、来年度においてはそのモデリングをした結果に基づいてシステム構築を行うという予定しております。その段階が済みましたら、これを可能な全ての業務分野に広げていくようなことを、今予定をしておりますので、そうした計画の詳細が定まりましたら、改めてこれはお知らせをするような格好になろうかと思えます。

**○門脇分科会長** 伊澤副市長。

**○伊澤副市長** 私のほうから少し補足をさせていただきます。これは本会議のほうでも御質問いただいて、御答弁申し上げましたが、今、塚田課長のほうからお答えしたとおりでありまして、基本的に今現在窓口業務を中心に、いわゆるICT化できるものというのを全て洗い出しをする作業をしております。その第一弾として、国の補助事業がありましたもんですから、令和元年度、子育て関係の事務について、先行してシステム構築の予備作業といいたいでしょうか、こんなことをやっております。これを活用して、令和2年度、そして実際の運用は順調にいきますと、令和3年の10月ごろの予定であります、これが稼働いたします。その後、今やっておりますそれ以外の業務の洗い出しで、可能なものの、基本的には全てを窓口業務でシステム化できるもの全ての開発に入りたいと、このように考えております。

これも順調にいけばということなんですけども、令和5、6年ごろにこれを稼働させたいと、このように考えて取り組みを進めております。済みません、お手元に資料が配れてなくて大変申しわけありません、それを一覧表にした資料がございますので、これは実は庁舎問題の特別委員会のほうでは、庁舎の関係もありますので配らせていただいたところでもあります。きょうは、本当は配らせていただくのがよかったのかもしれませんが、ちょっと反省しておりますが、お手元にお配りさせていただこうと改めて思いますので、ごらんいただきたいと思います。以上です。

**○門脇分科会長** 岡田委員。

**○岡田委員** 最後にしますけど、全体像をまた見させていただいて、この情報投資というもの、今回の新型コロナの件でも、もともと東京都なんかは情報投資が弱いということで、今副知事のほうに、元ヤフーの社長なんかが入られて非常に情報投資もしておられて、今回の新型コロナに対してもかなり有効な活用をしておられるということで、今回それとはまたちょっと違うんでしょうけれども、そういったものにも対応できるような体制というのがやはり米子市のほうでも構築できていく流れなんだろうというふうに思っておりますので、私のほうも勉強していきますけれども、こういった流れができていくことはいいいことだと思うんですけども、その投資効果っていうのがなかなかちょっと図りづらい部

分がありまして、またそういった詳細な情報もいただければというふうに思いますんで、その辺はちょっと要望しておきたいと思います。以上です。

**○門脇分科会長** 中田委員。

**○中田委員** 随分以前も、例えば20年近く前でしょうか、GISなんかはやり出したころも、先行するところはかなり先行して、例えば津山市のほうでしたでしょうか、導入を先駆けてやったところもあったんですけども、この世界ですので、日進月歩でいくと思うんですね。それで、先ほど副市長答弁されましたけど、いわゆる準備作業としての洗い出しをとにかく先行してやっていって、それがどういうふうに置きかえていけるのかというのは、その時点のところにおいて、見通してというか、見込みを立ててやっていったほうが、私は後から、しまったみたいなことにならないんじゃないかなと。

あわせて、今回の窓口業務ですけれども、GISのときにも議論したんですけども、例えばあのときは地図情報ですとか位置情報のベクトル情報なんかを非常に汎用性の高いシステムとして構築できるということで、そこには手が着きませんでした。だけど、今後はこういうのが、汎用性の高いシステムが、基幹システムがあれば、かなり役に立っていくのではないかと考えておきまして、そうすると、結構投資的事業として考えていかないとだめな予算規模になってくるのではないかなという思いもありますので、しっかり窓口業務以外のそういった業務についても洗い出しをしていただいて、置きかえ可能なベースをつくっていただくことをしっかり取り組んでいただきたい、これを要望しておきたいと思います。

**○門脇委員長** 岩崎委員。

**○岩崎委員** 私もスマート窓口、これについてなんですけど、今までずっとやりとりを聞いていまして、大まか理解のできたところもございますけども、予算ですので、このシステム、システム構築に当たってということで、予算が、このシステム自体が例えば買い取りなのか、リースなのかとか、このシステムを一回大口のシステムを入れておけば、今後、このスマート窓口のいろいろ洗い出しをされた事務事業にも全て対応できるものとか、あるいは今回の子育て関連の窓口システムのものだけに対応できるとか、ちょっとそこら辺を教えていただけませんか。

**○門脇分科会長** 塚田調査課長。

**○塚田調査課長** このたびのシステム開発は、先ほども申し上げたとおり、子育て分野を念頭に置いております。このたびの予算につきましては、実はシステム構築の委託料、事業者にお支払いする委託料でございます。システムが完成いたしましたので、先ほど副市長からも御答弁申し上げましたが、順調にいきますと令和3年の10月あたりだと思っておりますが、実際にシステムが稼働するようになると、事業者への今度はシステム使用料をお支払いするような格好で、今議会であわせてその債務負担もお諮りをしているようなところでございます。今回は子育て分野に限りということで、新たな分野に広げていく場合には、別途システム構築が必要になるということでございます。

**○門脇分科会長** 伊澤副市長。

**○伊澤副市長** 今のお尋ねは、今回のシステムの開発がその後続く、システムとのつながりはどうなるのかという御質問だったと思います。これは当然、また資料をお配りさせていただきますが、全体構想を持っておりますので、最終的には全ての可能な窓口業務を

システム化していくということを前提とした第一弾の開発ということで、業者のほうと一緒に開発したいと思っております。したがって、後ろにやってくる子育て業務以外の業務の開発と当然接合させて、システム開発を進めていくと、このような段取りになります。以上です。

**○門脇分科会長** 岩崎委員。

**○岩崎委員** 今回の副市長の答弁で、何となく見えてはきたと思うんですけども、要は今回大きな予算をここで入れておいて、しっかりと構築をしていく、開発をしていくということがまず一つ。今後、さらに展開するために、それは全くゼロ円ではないとは思いますが、大口が一応終わっているの、それなりのシステム移行をするための予算等々で終わるんだらうというような判断で今後の展開、そういうふうにとめてよろしいんですね。ちょっと改めて済みません。

**○門脇分科会長** 伊澤副市長。

**○伊澤副市長** 今後の展開ですけど、少し御説明いたしますと、実は国のほうでも今、地方自治体、国自身もそうなんですけど、大幅にICT化しよう。デジタルファーストという言葉をお聞きになったこともあると思います、加速的に電子情報化を進めようということで、地方自治体をどう電子化していくのかという具体的な実は検討も始まっております。ただ、いろんな自治体で、実はさまざまなシステムが使われているというのが今の現状でありまして、究極は国が統一のものをつくって、地方に配るというやり方もひょっとしたらあるのかもしれませんが、なかなかそうはならんだらうということで、いわゆる標準となるフォーマットといいたいでしょうか、そういったようなものをつくって示してくるといような動きも、実は今、同時進行で進んでおります。

何が言いたいかというと、そういった動きも含めて、ちょっとこれから先、少し動きが読み切れないところもあるんですけど、結論は、できるだけ最少の投資になるようにオペレーションをしていきたいというふうに思っておりますし、それから、今はとりあえず米子市の単独という形にしておりますが、できるだけよその自治体とも一緒になって組んでいく、そうするとコストダウンが図れますので、こういったことも工夫したいと思っております。以上です。

**○門脇分科会長** ほかにございますか。

石橋委員。

**○石橋委員** 関連で、今、伺っていたところでは、今回のこの予算は委託料、このシステムを構築するための作業をどこかに委託する委託料だと言われました。そして、令和3年度の10月ごろから稼働するとして、その後の運営も委託するというふうに伺ったと思います。ずっとこのシステムを運営していくのは、その委託する民間の会社になるわけですか。

**○門脇分科会長** 塚田調査課長。

**○塚田調査課長** 現在のところ、システム構築ができて、サービスを利用していくというのは、10年間を想定しております。そこから先というのは、ちょっと現在のところではお答えするようなことはできない、システムは10年間の使用というのを想定しているということです。

**○門脇分科会長** 伊澤副市長。

**○伊澤副市長** 今の委員の御質問は、システム開発の後の運営をとという話だったと思います。運営という言葉をどういうふうに私が理解しているのかっていうのがちょっと迷いますので、もし違っていたら後で御指摘いただければと思いますが、運用は当然市がやっていきます。開発は、市の職員もかかわりながら業者がやっていきます。今回お願いする予算はこの部分です。そして、開発ができますと、今度は運用が始まってまいります。運用自体は市がやるわけですが、そのシステム保守、システムというものはコンピューターの機器、それからプログラム等で構成されますので、これを保守運営する部分を業者に委託いたします。それに係る経費、概算で大体年間で1,200万ぐらいかなというふうに見ておりますが、これもまだ確定した額ではございませんが。あるいは、先ほど申し上げたとおり、もし仮にこれを共同運営するということになれば、どっかの自治体と頭割りで安くなるというようなこと、実はそういったことも、今、話を始めておりますけども。そういうことで経費節減に努めますが、運用は市がやる、ただしシステム保守を業者がやるということだというふうに御理解いただきたいと思います。以上です。

**○門脇分科会長** 石橋委員。

**○石橋委員** 今、説明していただきましたけども、市民の情報が膨大に入ったものですから、その情報が漏えいしないっていう保証はあるのかっていうところが大変気になるところなんです。システム保守を委託の会社にはしてもらうんだという説明で一応わかりましたけれど、情報が漏れるっていう心配は本当はないのでしょうか。

**○門脇分科会長** 伊澤副市長。

**○伊澤副市長** これは現在でも、実は基幹業務、住基系も含めてさまざまなシステムを、先ほど御説明したとおり運用は市がやっておりますけども、同じようにシステム保守等は業者の方をお願いしております。この関係は全く変わりません。当然、秘密保持契約といいましょうか、保守契約といいましょうか、その中で秘密保持等について厳格に契約も結んでやっておりますし、現在までのところ、業者の関係でそういった事故等が起きたということはないというふうに承知しております。以上です。

**○門脇分科会長** ほかにございませんか。

今城委員。

**○今城委員** 2点あるんですが、まず1点目、5ページ、6ページのところ、下段、上段に米子ゴルフ場整備とゴルフ場の環境整備事業が2つに分けて計上されています。根拠法令としての公正証書に関する確認書をもとにして、この予算は毎年計上されているものがあるんですけども、これは十分承知した上なんですけれども、経営状況などのことを考えていく上で、例えばことしでは、特別なことかもしれませんが、コロナの関係で今後の経営がどうなっていくのかなっていうこともちょっと不安なものを感じるころの中で、今後こういう保守に関する費用をずっと米子市が担い続けていくという考え方でいいのか、それとも、例えば個別施設計画等の中で、これを今後どうしていくということが持ち上がってくるというか、考え方として、それも俎上に載ってくるということがあるのか、その辺の考え方とか、今後の持っていく方みたいなことがあれば教えてください。

**○門脇分科会長** 瀬尻総務管財課長。

**○瀬尻総務管財課長** 保守についての考え方ですが、この公正証書のほうに取り交わしている確認書の中で、お互いに大規模な保守については市のほうでやっていくということに



なっておりますので、今後についても同じような考え方でしていきたいと思っております。

**○門脇分科会長** 今城委員。

**○今城委員** ということですので、その辺は現状として承知しているところではあるんですけども、これは要望としてですが、各施設についても総合管理計画の中で個別施設計画を立てていくという中で、ここだけ特別ですよ、こういうものがあるのっていう考え方なのかどうなのかっていうのを教えていただきたいところと、やっぱりどう考えても、今後何十年も先のことまで考えていくと、どこかの時点であり方をきちっと決めていかないといけないときがやってくると思うんです。それがことしだとか来年だとかと言ってるわけじゃないんですけども、これはやっぱり総量ということを考えていく上で、これだけ別ですよということには成り立たないのではないかなというふうに、だんだん思ってくるころなんですけど、その辺の考え方を教えておいてください。

**○門脇分科会長** 瀬尻総務管財課長。

**○瀬尻総務管財課長** 考え方なんですけど、ここ10年、改修工事、何が必要なのかということ自体は計画にしております、その中でゴルフ場のほうと協議しながら、今後この先もことも協議を踏まえて話しながらやっていかないといけないかなと思っております。

**○門脇分科会長** 今城委員。

**○今城委員** あり方として、やはりこれ自体を持ち続けるのかどうなのかという意味での考え方は、少し検討してみてください。今すぐお答え下さいということではないです。やっぱりその辺は考えていかないといけない時期が必ず来ると思いますので、それは個別施設計画の考え方と同じ条件で考えてくださいねという意味で、ひとつお願いしておきたいと思います。

もう一点、6ページの下段、公共職業安定所の跡地の購入についてです。庁舎ビジョン等でも御説明をずっといただいてきておりますので、私としてはしっかりとこれは取得をしていただきたいと将来的なことも考えまして思っているところなんですけれども、やっと今回予算として上がってきたというところで、実際この予算内で取得が必ずできるのかというところ、目指していくということは再三お聞きしているんですけど、じゃあこの予算内でできなかった場合はどうするのかというところ、前回の委員会等でも少しお話もありましたが、せつかく予算という形で出ていますので、一度そこら辺の確認をさせていただきます。

**○門脇分科会長** 塚田調査課長。

**○塚田調査課長** 委員会のほうでもお答えをしたと思いますが、これは公共随契という格好で見積もり合わせを行います。5回することになりますが、折り合わないという可能性もないことではないというふうに思っております。

もし取得できない場合にどうするかということでございますが、これも繰り返し申し上げてきましたが、今のところ既存の建物の余剰スペース等を利用しながら何とか再編を進めていきたいと、このように考えております。

**○門脇分科会長** 今城委員。

**○今城委員** ということになりますと、今年度の予算で取得できない場合は、今年度については取得をしない可能性もあるという考え方でいいということですか。もしくは来年度とか、チャンスがあればまた応募するということですか。

**○門脇分科会長** 塚田調査課長。

**○塚田調査課長** とりあえず今のところは、何とか購入したい、取得をしたいという気持ちでおりまして、取得できなかった場合には、まず第一には既存のスペースの活用を考えさせていただくような格好になろうかと思いますが、いろいろ既存のスペースが十分活用できないということであれば、改めて取得ということも検討する必要があるのかなというふうに思います。

**○門脇分科会長** 今城委員。

**○今城委員** 既存スペースを使うということは重々承知した上で、だからこそ頑張って取得していただきたいので、この5回の入札、見積もり合わせで合わなかった場合、また例えば次回とか次年度になるのか、そこの見積もり合わせをどこの時点に持つていくのかというところが、予算ですから、この予算をどういう形で執行するのかということが聞きたいところなんですけれど。これはどうなんでしょうかね、こちらで予定できるものでもないのもありますから、どうでしょうと思いますけど、頑張って取得していただきたいというのが私の気持ちですので、それをお伝えして、もし何かあればということで。

**○門脇分科会長** 伊澤副市長。

**○伊澤副市長** 今、塚田課長のほうからお答えしたとおりなんですけども、基本的には取得を目指していきたいということでもあります。これは相手があることでありますので、折り合えるかどうかということでもあります。仮にという話ではありますが、これが不調に終わった場合ということでもあります。不調もどの程度の不調なのかというようなこともきっとあるんだろうと思っておりますが、一つだけはっきり申し上げたいのは、我々としては現在見積もっている金額、程度が妥当な金額だろうと、こういうふうに考えておりますので、折り合わないからといって、やたら高い金額で無理して購入するということは適当でないだろうと、このように思っております。したがって、この金額程度で取得を目指したいということが一つ。それから、購入がかなわなかった場合ということになりますと、これもさまざま庁舎ビジョンのほうでも申し上げておりますが、できるだけ避けたいと思っておりますけども、旧庁舎新館部分でのいわゆる簡易な庁舎、あるいは民間ビル等のリーシングといったようなもので対応していくと。もちろん、先ほどから申し上げておりますとおり、今後、事務スペースも、実は先ほど申し上げたICT化等でかなり、多分少しずつ減ってくるだろうと思っております。一番減るのが、実は紙が減るという話がありまして、今、書庫とか結構いろいろ物置き場にたくさん使っていますので、こういったようなものとか、当然職員も減っていくということ。これは機械化に伴って職員の数が必然的に減っていきますので、こういったようなことを勘案しながら、調整しながらやりくりしていくということになっていきますが、まずはこの金額程度で取得を図りたいと、このように考えております。以上です。

**○門脇分科会長** 中田委員。

**○中田委員** ちょっと別な項目なんですけど、説明書の73ページの消防団車庫整備事業についてなんですけども、ちょっと記憶が定かでない、昨年の決算審査のときだったと私は思うんですけども、私が質問して確認したことなんですけど、さっき説明もあつた年次的な消防団車庫の建てかえということと、消防ポンプ車両の更新の年次計画とがリンクしてますかという問いに対して、リンクしていないということで、リンクをきっちりしていただ

かないと、新しい消防車の車両が大きくなっていて消防車庫に入れない分団もあるということから、そこをリンクさせていただきたいということを要望した記憶があるんですが、その辺については、この計画をすり合わせた上での新年度からの年次計画なんでしょうか。

**○門脇分科会長** 田中防災安全課地域安全担当課長補佐。

**○田中防災安全課地域安全担当課長補佐** 今御質問のありました消防団車庫整備と消防ポンプ自動車の整備計画についてでございますけれども、基本的な考え方といたしましては、消防団車庫については、おおむね築40年を経過した消防団車庫から整備を行っていく、更新整備を行うこととしております。消防ポンプ自動車につきましては、こちらはおおむね20年を経過した消防ポンプ車の更新整備を行うということで、おおむねの計画は立てております。ただ、こちらの計画につきましては、防衛省等を初め各種補助金等の活用ということもありますので、将来的な計画の順番については、随時変更等も図っていかなければならないというふうに考えております。

今、御質問のありましたポンプ自動車と車庫の整備の年数の整合性ということですが、今現在、直接的にリンクをしているものではありませんが、先ほど申し上げました諸状況によって、計画を見直すに当たっては、そういったことも加味して、計画のほうの調整を図りたいというふうには考えてはおります。以上です。

**○門脇分科会長** 中田委員。

**○中田委員** 私が言いたいのは、まず肝心なのは、消防車両の更新のほうは肝心なんです、実際の災害対応として。その災害対応として必要な消防ポンプ車両の更新をしようにも、例えば現在の車庫には入らないという分団があるんですね。いつ更新するかは別の問題ですよ。だから、私は昨年、すり合わせというか、リンクをきちっとさせた年次計画を組み立てていかないと、肝心なことが順番を後にするというようなことも場合によっては起きるのではないかと懸念があることから、それをきちっとリンクさせた計画にしてくださいと申し上げたんです。端的に、それはきちっと踏まえた年次計画としてやっていくということによろしいんですか。

**○門脇分科会長** 田中地域安全担当課長補佐。

**○田中防災安全課地域安全担当課長補佐** 今の御質問についてでございますけれども、先ほど申し上げました現在の時点では直接的なリンクというのは行っておりませんが、ただ、これも先ほど申し上げましたが、数年後以降につきましては、やはり補助金等の活用によりまして順番が変わり得ることが、ポンプ車、そして車庫のほう、両方とも考え得る状況でございますので、もちろん加味をして、前後関係を修正していくということは当然あり得ることだというふうに考えております。

**○門脇分科会長** 永瀬防災安全監。

**○永瀬防災安全監** 決算のときに中田委員のほうから御指摘いただいたことは十分、課内でいろいろ話をしております。それで今、年数の違いがずれてますよという話で、かつ、それを調整するというばやとした話は、担当のほう、させていただいておりますけど、今後そういった消防ポンプ自動車を整備するときに、車庫との関連性、こういったものを十分よく点検しながら、場合によって老朽度に関係なく、ちょっと変えろとか、そういったことは当然考えていかないといけないというふうに思っておりますので、以後、考えていきたいと思っております。

**○門脇分科会長** 中田委員。

**○中田委員** ぜひお願いします。場所によっては、現在のポンプ車両の車庫がある場所では建てかえが難しいというところもあったりするんですね。違う場所に建てなければいけないというようなこともあるので、結構大きな動きになる場合も想像されるんですね。だから、早目早目にその辺をすり合わせといていただいたほうが、ぎりぎりになってということにならないと思うので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

**○門脇分科会長** ほかにございませんか。

石橋委員。

**○石橋委員** 返りますけど、2ページの防災ラジオの整備事業です。本会議のほうでも質疑しておりますけれども、このラジオ、個人の負担が3,000円という設定について、やはり高いなというふうに思うわけですが、この事業、それこそなかなか放送が聞こえないっていう声がある中で進めていくっていうのは歓迎です。その場合に、やはりお年寄りの単身の世帯などが一番情報が入りにくいような状況だと思うんですけど、ここの中で、500台は支援の要るようなところに配布しますという話がありましたけれど、要支援の方っていうのは、何か身体的に要介護度が進んでいる方とか、いろいろ条件があると思うんですね。一般的な高齢者になかなかそれは行き届かないだろうと、単身の老人の世帯っていうのが一番情報が入らないで逃げおくれがあるんじゃないかっていうところを心配するわけですが、そういうところの中で、例えば生活保護の世帯などは3,000円の負担っていうのはかなり重たいですよ、1回切りですけど。でも、それこそかなり親しい人のお葬式にも香典が出せないから行けないという声も聞いております。そういう実態ほどは受けていないけれど、ひとり暮らしの単身の老人の世帯の家計はなかなか厳しいと思います。そういう意味ではもうちょっと金額が考慮できないのか伺います。

**○門脇分科会長** 永瀬防災安全監。

**○永瀬防災安全監** この金額の件につきましては、岡村委員さんのほうからも御意見いただいたところでございます。それから、その前にも代表質問のときにも、調達価格に対して幾らぐらいの金額にするかっていうことで、鳥取市の事例なんかも紹介していただいた質問をいただいております。予算としては、もちろん3,000円を基準とする予算を上程させていただいておりますので、現時点におきましては、3,000円を基本としながらも、今後、実際には、今1万2,000円というふうに見込んでおりますけど、その調達価格が実際のところ、実行段階におきまして幾らになるのかと、そういったことも考えながら、あるいは鳥取市のような、2,000円を設定されましたけど、そういったことも考えながら、全体の歳入と歳出予算の中でちょっとやりくりも考えて、どのぐらいの設定が適正なのかということをも十分検討したいと思います。

**○門脇分科会長** 三木防災安全課長。

**○三木防災安全課長** 済みません、補足させていただきます。500台の提供の分ですが、これにつきましては地域防災に活用していただくために、自治会長または自主防災の会長、あるいは消防団の分団等に配布するものでございます。以上です。

**○門脇分科会長** ほかにございませんか。

岡田委員。

**○岡田委員** 先ほど今城委員が言われました5ページのところの米子ゴルフ場の件なん

ですけれども、これは毎年、整備事業ということで予算を出しておられまして、あと松枯れ関係の予算も出しておられるんですけれども、そもそも、先ほどあったように普通財産なんですよね。行政財産じゃなくて普通財産ですよね。それで、あり方ということもやっぱり検討したほうが良いという御意見も先ほどもありまして、私もそのとおりだと思うんですけれども。要は、所有は米子市なんだけれども、運営は民間の方にやっていただいていると。今の時点では、収支はある程度合っていて、米子市のほうに入ってくるお金のほうが、出ていくお金よりも入ってくるお金のほうが多いという状況なんだろうと思うんですけれども、そもそも資産を管理する立場として、例えば所有権が民間の方に移った場合に、固定資産税としてはどれぐらい入るものなんですか。そういう評価っていうのはしておられますか。

**○門脇分科会長** 瀬尻総務管財課長。

**○瀬尻総務管財課長** 岡田委員の質問なんですけど、固定資産税とかの評価のほうは今のところまだしていませんので、ちょっと仮評価という形で調べてみたいと思っております。

**○門脇分科会長** 岡田委員。

**○岡田委員** 要は、例えば年間に、利益だけの問題ではないと思うんですけれども、収支というところに視点をまず当てれば、例えば今の時点で米子市がプラス・マイナス3,000万もうかっているといいますか、収支が合っている。でも、簡単に言うと、所有権移転すると固定資産税だけでも例えば3,000万円入るということになりますと、これは米子市そのものが持っている必要性というのほどこまであるのかなと。要は、行政が必ずしなければならないという業務でもないというふうに思いますし、やはり民間の方にきちっと持っていただくほうが良いのかなと、こういう業務に関しては、思うところがありますので、今年度とか来年度どうのこうのということではないんですけれども、そういうデータもぜひとも出していただきたいということ。それと、先ほど10年ぐらいの改善計画というか、この施設に対してどの程度コストがかかるのかというのは、計画としてはおありなんですか。その中での令和2年度の予算という形で、私たちは見させてもらってよろしいんでしょうか。

**○門脇分科会長** 瀬尻総務管財課長。

**○瀬尻総務管財課長** 岡田委員のおっしゃるとおりに、10年間のほうの計画の中の一部ということになっております。

**○門脇分科会長** 岡田委員。

**○岡田委員** 最後にしますけど、ぜひ、先ほど申しあげました固定資産税の評価等も含めまして、この資産が普通財産、米子市民の財産ということに今はなっているんですけれども、これを所有し続けるのが良いのか、民間のほうに持っていただくのが良いのかということも、やはり将来的にはきちっと検討すべきことだろうと思いますので、ぜひそういうことを検討するための材料をまた提供していただくように要望しておきたいと思います。

**○門脇分科会長** ほかにございませんか。

国頭委員。

**○国頭委員** 予算説明資料ではないんですが、事業別予算説明書の3ページの3目、庁舎管理事業、前年度よりは1,300万上がっているんですが、ここは何が上がったのかとい

うことと、それから、4ページの11目、災害対策事業、各種災害に対応できる環境整備を目的とした関係設備の維持管理ということなんですけど、委託料が主なんですけど、これについてどういったものなのかお聞きしたいと思います。

○門脇分科会長 瀬尻総務管財課長。

○瀬尻総務管財課長 上がった原因ですが、委託料のほうが伸びているということでございます。

[発言する者あり]

済みません、PCB処理委託料が伸びていたためです。

○門脇分科会長 永瀬防災安全監。

○永瀬防災安全監 災害対策事業の委託料の内訳なんですけども、点検委託料としまして非常用発電機の保守点検というものが来年度から入ってきます。あとは、これまでもございます蓄電池設備のメンテナンス委託料がございまして、増額部分としましては、今年度整備が完了します非常用発電機、これの保守点検部分の金額が委託料として増額になるということでございます。

○門脇分科会長 国頭委員。

○国頭委員 庁舎管理はPCBだけで1,300万上がるということですね、説明によると。確認ですけど。

○門脇分科会長 瀬尻総務管財課長。

○瀬尻総務管財課長 主なものでそういった形になっております。

○門脇分科会長 いいですか。ほかにはございせんか。

[「なし」と声あり]

○門脇分科会長 それでは、ないようですので、次に参ります。

議案第36号、令和2年度米子市土地取得事業特別会計予算を議題といたします。

当局の説明を求めます。

下関財政課長。

○下関財政課長 議案第36号、令和2年度米子市土地取得事業特別会計予算の概要について御説明をいたします。お配りしております令和2年度事業別予算説明書をごらんいただきたいと思っております。

209ページをお開きください。上の表、起債償還元金といたしまして4,702万円を計上しております。これは平成18年度に土地開発公社経営健全化計画に基づきまして土地開発公社の用地を取得しております。その際発行しました市債の償還金のうち、元金部分を計上したものでございます。

続きまして、下の表、起債償還利子としまして114万3,000円を計上しております。これは先ほど御説明いたしました市債の償還金のうち、利子部分を計上したものでございます。なお、土地開発公社は平成25年度末に解散いたしております。説明は以上でございます。

○門脇分科会長 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

[「なし」と声あり]

○門脇分科会長 それでは、ないようですので、予算決算委員会総務政策分科会を暫時休

憩いたします。

午前 11 時 26 分 休憩

午後 1 時 25 分 再開

**○門脇分科会長** 予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。

議案第 27 号、令和元年度米子市一般会計補正予算（補正第 4 回）のうち総合政策部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

長谷川総合政策課長。

**○長谷川総合政策課長** そういたしますと、議案第 27 号、令和元年度米子市一般会計補正予算（補正第 4 回）のうち総合政策部所管部分について説明をさせていただきます。

お手元の令和元年度米子市補正予算書をお願いいたします。補正予算書の 29 ページをお開きください。29 ページでございますけれども、2 款 1 項 9 目企画費の部分でございます。企画費の右端の説明欄をごらんいただけますでしょうか。説明欄に事業が 5 つございます。この 5 事業が総合政策部所管の事業でございますが、いずれの事業も事業実施に伴います実績見込みの増減に伴いまして、それぞれ必要な額を減額または増額補正するものでございます。説明は以上です。

**○門脇分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様から意見を求めます。ございませんか。

〔「なし」と声あり〕

**○門脇委員長** それでは、ないようですので、次に、議案第 34 号、令和 2 年度米子市一般会計予算のうち総合政策部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

長谷川総合政策課長。

**○長谷川総合政策課長** そういたしますと、議案第 34 号、令和 2 年度米子市一般会計予算のうち総合政策部所管部分について説明をさせていただきます。説明資料は、お手元の令和 2 年当初予算歳出予算の主な事業の概要（予算説明資料）、こちらでございますけれども、この予算説明資料で進めさせていただきたいと思っております。

この予算説明資料の、まずは 9 ページをお開きください。予算説明資料の 9 ページでございます。総合政策部所管の事業のうち新規事業など主な事業につきまして、かいつまんで説明をさせていただきます。まず、9 ページの上の段でございますけれども、わかりやすいまちづくり推進事業といたしまして、210 万円を計上しております。これは道路通称名の設定につきまして、新たに 2 路線を追加しようとするものでございます。

続きまして、下の段、公共交通利用促進事業として、109 万 4,000 円を計上しております。この事業は、イベントなどでバスの割引券の配布、または利用啓発を行うことで、公共交通の利用促進を図ろうとするものでございます。

続きまして、10 ページをお開きください。上の段、新たな総合交通体系の調査研究事業といたしまして、197 万 5,000 円を計上しております。これは、公共交通の専門家とのコンサルタント契約によりまして、本市の公共交通体系を点検いたしまして、新たな交通体系の構築のための施策を検討するものでございます。

続きまして、11 ページでございます。上の段、高校生通学費助成制度でございます。

340万2,000円を計上しております。これは、県内の高等学校等に公共交通機関を利用して通学する生徒に対する通学費の補助制度を新たに設けるものでございます。

続きまして、下の段でございます。高齢者バス運賃助成制度でございます。1,662万4,000円を計上しております。これは、これまで運転免許を自主返納された方に限定しておりました高齢者バス定期券の購入補助につきまして、その対象者を満70歳以上の全ての高齢者に拡大するものでございます。以上のように、公共交通につきましては、令和2年度から公共交通ビジョンを具現化するべく、さまざまな事業を展開していくこととしております。

続きまして、12ページをお開きください。下の段でございます。明日を創るふるさと教育推進事業として、62万円を計上しております。これは、先日締結いたしました協定によりまして、米子西高が行いますふるさと教育に関する活動に対しまして、協力支援を行うものでございます。

次に、15ページをお開きください。15ページの上の段、弓浜コミュニティー広場休憩施設整備事業として、2,952万4,000円を計上しております。これは、弓浜コミュニティー広場の利用者の利便性向上を図るため、更衣室、待避所としての休憩施設を整備するものでございます。

続きまして、大きくページが飛びますけれども、56ページをお開きください。56ページ、下の段でございます。伯耆古代の丘公園整備事業といたしまして、3,222万1,000円を計上しております。これは、伯耆古代の丘公園への誘客を図るため、遊具やフリースペースの整備、それからトイレの洋式化などを行うものでございます。説明は以上です。

**○門脇分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

岩崎委員。

**○岩崎委員** では、まず9ページです。公共交通利用促進事業についてお尋ねをします。これは、どういう場所で配布する予定に大体なっているのか、それからどんな配布方法でしていくとお考えになっているのかお尋ねします。

**○門脇分科会長** 石上総合政策部次長。

**○石上総合政策部次長兼交通政策課長** イベント等につきましては、中心市街地の活性化に資するイベント、もしくは介護予防等、市の施策に合致するようなイベント等で配ることを想定しております。

配り方につきましては、例えば入場券とかがつきますものにつきましては、入場券に刷り込んで配る、もしくは会場で来られた方に配るという2つの方法等がありまして、今後、イベントとの打ち合わせになります。それぞれのバスの割引券につきましては、当日限り有効と日付を打ったものにする予定でして、ほかの目的には利用できず、そのイベント等に、もしくはその関連したことで使えるようなことで配るようしております。詳細につきましては、今後イベントとの打ち合わせの上で決定いたします。

**○門脇分科会長** 岩崎委員。

**○岩崎委員** わかりました。効果が上がることを期待しております。それと、説明がなかったんですけど、ちょっとこれはどうかなと思うんですが、12ページの上の段、地域振



興課はここではなかったですか。この予算説明はなかったのですが、いいですかね。よろしいですか、委員長。

**○門脇分科会長** ちょっとお待ちください。大丈夫ですね。

じゃあ、岩崎委員、続けてください。

**○岩崎委員** では、いきます。これは大体5年に一度ということでの周年事業でということでございます。聞きたいことは、例えば5年前もこの記念式典がありました。それは目的としては交流を図るということと、あわせて、例えば文化交流であったり、市民団体の交流であったり、さらに活発に交流ができればというような運びでの記念式典であるというふうに認識しておりますけれども、その後、5年前から比べて、今回25周年、どのように変わってきたのか、この交流がどうだったのかというようなことをお尋ねしたいと思っております。

**○門脇分科会長** 奥田総合政策部次長。

**○奥田総合政策部次長兼地域振興課長** 東草市との姉妹提携の25周年事業に関係しまして、5年前の事業からの進展ということでお問い合わせですけれども、これにつきましては、5年前には、米子市のほうから市長を中心としました代表団と芸能交流団が東草のほうに参りまして、向こうで友好を深めました。今回、令和2年度は、25周年につきましては、東草市のほうから米子市のほうに代表団並びに文化芸能団をお招きして、米子の市民の方に広く友好を深めていただきたいと思いますと思っています。

**○門脇分科会長** 岩崎委員。

**○岩崎委員** 割合この式典っていうのは、行政同士の、言ってみれば身内同士の交流というような印象も、もしかしたら持たれるかもしれません。というのは、全体的にこの米子市を挙げて本当に交流が図られているかということ、ちょっと疑問なところも若干あるような気がします。さらに活発に民間団体等々、交流が図られることを期待して質問を終わります。

**○門脇分科会長** ほかにございませんか。

中田委員。

**○中田委員** 例えば内訳を見ると、訪問団の滞在費なんかも金額がはじいてあるんですけど、向こうが決めることだとは思いますが、大体何人ぐらいを想定したものとなっているのでしょうか。

**○門脇分科会長** 奥田総合政策部次長。

**○奥田総合政策部次長兼地域振興課長** これは、向こうから来られますのは、想定していますのは、市長を代表とする代表団並びに市民の方々の文化芸能団を含めまして、総勢20名を想定しています。

**○門脇分科会長** 中田委員。

**○中田委員** 先ほど言われたように、5年前はあちらに行って、非常に手厚いといいますか、大歓迎を受けたはずなんですよね。実は、その前の年でしたでしょうか、がいな祭のときに来られて、歓迎のパーティーというか、をしたこともあるんですけども、かなり向こうと温度差が私はあったと思っておりますよ。やっぱり文化的にそもそも違うんですが、我々は我々の日本の米子としての文化を持ち合わせた歓迎の仕方がもちろんあると思っておりますけども、中身は違っても余り温度差を生じさせないような、やっぱりきちっとし

た受け入れというか、歓迎の仕方っていうのがあると思いますので、そこら辺は、実はちょっと金額的にも本当に足りるんだらうかなって一瞬思ったんですけども、ぜひそういうのは、こういう時世ですから余計に、この交流の持つ意味というのはあると思いますんで、そこら辺をしっかりとやっていただくだけのやっぱり取り組みというか、この事業に臨んでいただきたいってことを要望しておきたいと思います。

**○門脇分科会長** ほかにございませんか。

石橋委員。

**○石橋委員** 最初に11ページの上段、高校生通学費助成制度ですけれど、鳥取県は、例えば5,000円を超えるところというふうに、枠を広げた場合にも助成をするというふうには言っておられますけれど、助成を広げる、5,000円以上にするとかということは十分に検討されたんでしょうか。

**○門脇分科会長** 石上総合政策部次長。

**○石上総合政策部次長兼交通政策課長** 総括質問でもお答えいたしました。検討はいたしました。けれども、7,000円である程度本来の趣旨である長距離通学者の支援はできるということで、県内他市の状況も見て7,000円、もとの県の条件どおりで行うことといたしております。

**○門脇分科会長** 石橋委員。

**○石橋委員** 次、行きます。同じページの下段です、高齢者のバス運賃助成事業。これは、免許返納者に限らず広げたということで、それはグラント70ということで70歳以上の高齢者っていうことなんだと思うんですが、返納したときから6カ月分を2回とかいうような限定で、その後の助成はなかったと思うんですね。グラント70の場合も、やはり1年で終わるような助成っていうことでしょうか。

**○門脇分科会長** 石上総合政策部次長。

**○石上総合政策部次長兼交通政策課長** 御指摘のとおり、免許返納者に関しましては、グラント70を1年間に限り1,000円で販売しておりますが、これは引き続き来年度以降もでございます。それに加えて、条件なしで70歳以上でしたらいつでもグラント70が、ちょっと金額が変わりますが、1万3,100円で買えるという制度を新たに設けて、こちら回数制限等はありません。ですので、免許返納の2年目、3年目の方が使われたりとか、もしくは免許返納に関係なくて、高齢者の方でバスに乗って活動範囲を広げたいという方がおられましたら誰でも利用できるような制度としております。

**○門脇分科会長** 石橋委員。

**○石橋委員** わかりました。もう一つ伺います。次のページの12ページ下段ですけれど、明日を創るふるさと教育推進事業ということで、米子西高と提携してふるさと教育を進めるということなんですが、協力支援する内容について、もうちょっと具体的に詳しく教えていただけませんか。

**○門脇分科会長** 長谷川総合政策課長。

**○長谷川総合政策課長** ふるさと教育に係ります協力支援の内容でございますけれども、まず、ふるさと米子市を題材といたしました、取り組んでいただく課題テーマ、これを米子市のほうからも提供をさせていただきます。それから、その課題テーマの探求に当たって、さまざまに勉強したり、調べたりされる場合に、米子市の職員のほうからも協力

いたしますし、もしくは地域の方、これをアドバイザーということでお願いするなどして、学習を深めていただくといったようなことも協力をしていきたいというぐあいに考えております。以上です。

○**門脇分科会長** 石橋委員。

○**石橋委員** これは、米子西高の授業の一環として行われるってということですか。

○**門脇分科会長** 長谷川総合政策課長。

○**長谷川総合政策課長** 授業の一環として行われます探求の授業がございまして、その中で、ふるさと教育を選択される生徒さんにつきまして、その活動を協力するものでございます。

○**門脇分科会長** 石橋委員。

○**石橋委員** 時間数はどれぐらいになるんですか。

○**門脇分科会長** 長谷川総合政策課長。

○**長谷川総合政策課長** 伺っております計画によりますと、26時間程度ということ聞いております。

○**門脇分科会長** 今城委員。

○**今城委員** 交通政策、先ほどもおっしゃってくださいましたとおり、交通ビジョンを具現化していく一歩としていくってということでおっしゃってくださいったところなんですけれども、あえて言えば10ページの新たな総合交通体系の調査研究事業というところで申し上げるところかなと思ったりするんですけど、先ほどからずっと各委員がおっしゃってくださいています交通政策事業の、例えばバスの割引券の配布ですとか、高齢者に対するバスの補助ですとか、いろんな形では出ているのですが、よくよく総括質問を含めてお聞きしていますと、まだこれから制度設計始めますとかってということが多過ぎて、実際問題、今の時点でどういうことが行われて、どういうふうな形になっていくのかってというのが余りにも見えなさ過ぎるってところが、ちょっと不安を感じるころでもあります。

それともう一つは、結局のところ、バスだけではないけど、今はバスを基準にしながらの予算がついているのだなというふうに思っているんですけど、乗り継ぎがきちっとできていないとか、乗り継ぎが利便性がないってところも結構あって、だから使えないとか、使わないという点もすごくあるかなっていうふうに私は思っているところで、実際問題、うちのあたりから出るのにも、高島屋方面を通ってでないとなかなか米子駅方面に出れないとか、高島屋方面で一旦乗りかえて、例えば皆生方面に行くんなら乗り継ぎを考えられてはいるけれども、錦町方面とかに行こうとすると、バス一体どうなってるんだとか、結局使えないんだよねってというようなものが非常に多過ぎるという中で、結局乗り継ぎ体系みたいな感じのことをまず整備をしていかないって意味では、この新たな公共交通体系の調査研究というのが一番大きな星になるのかなっていうふうには思っているところなんですけれども、質問とすると、研究していただいて、いつごろそれが成果として上がってきて、どういう形のものになり、本当に使い勝手のいい目に見えるようなものになるのは一体いつごろなのかな、この1年でできるのかなってというのが非常に危惧されるころなんですけど、いかがなものでしょうか。

○**門脇分科会長** 石上総合政策部次長。

○**石上総合政策部次長兼交通政策課長** 新たな総合交通体系の調査研究事業につきまして

ての御質問ですが、要は新年度予算では研究事業しか組んでおりませんので、新年度事業では、例えば調査事業の上でやって効果があって緊急性がある、もしくはほとんど経費もかからずできるようなことにつきましては、順次、新年度からやっていこうと思いますが、予算が絡むものにつきましては翌年度以降ということになります。

最終的に、いつ使いやすい交通体系にできるのかということにつきましては、何分明言はできませんけど、できるだけ早い時期にというふうには考えて事業は進めさせていただきます。

**○門脇分科会長** 今城委員。

**○今城委員** わかりました。ということですので、十分これはもう、これまでもいろんな課題になっているところを何とかして動かさないって思いの中でスタートしているってことは重々わかっているんですけども、そうなってくると、例えば高齢者のバス運賃助成事業とかっていうのが出てきているんですけど、実際問題、グランド70を利用して、運転免許返納によってというのがどうやら240名ですって総括のときに伺ったんですけども、その240名の方が実際に次の段階として、この5割引き1万3,100円を本当に利用するのかなっていうのがちょっと疑問だっていうふうに思うところと、それは一つは、1万3,100円っていうのがどれぐらい利用者にとって、ああ、便利だとかよかったなと思えるものになっていくのかっていうのが、ことしから始めることにけちつけても仕方がないんですけど、その辺のところをどう追跡し、どういうふうに考えていけるものにしていくのかっていう調査のところまでは、ここはあるのかどうなのかっていうことや、その調査を踏まえて次の段階に進んでいくときに、どうなのかっていうところまでやっていかないと、これあんまり、言い方は変ですけど、何とかバスに乗せましよう対策みたいなことにしかならないのだったら、どうなのかなんて思ったりする。予算に対してどうこう思うんじゃないんですけど、せっかくするんだったら、そういう形に持っていけるような仕掛けみたいなところまでいっているのかなっていうところをちょっと伺っておきたいと思います。

**○門脇分科会長** 石上総合政策部次長。

**○石上総合政策部次長兼交通政策課長** 高齢者バス運賃助成事業につきましては、昨年度からしております免許返納者についての補助で、二百数十名の利用がございます。実際のところ、2年目以降どのぐらい継続しているのかにつきましてはデータがありませんが、鳥取県西部地区でこのグランド70の販売枚数を見ますと、うちの補助以外での売り上げは100枚程度ですので、多くても継続者はそのぐらいということです。理由としましては、やはり最初の1,000円というのがかなり安いですので、乗らなくてもお試しで買って、実際には乗っていない人も結構いるのではないかと。逆に言うと、その100名の方はよかったから2年目に使ったか、もしくは免許返納と関係なしに買ったかという方ですんで、その辺のところを追跡も考えております。

新年度からは、購入時に介護予防のアンケートを一緒に配ることにしております、半年に1回の購入ですので、購入者の方の介護予防チェックリスト、フレイル調査のリストですけども、結果がわかるようにしようと思っております。これによりまして、要は単にバスに乗ることが目的ではなく、バスに乗って行動範囲が広がったり、歩く歩数がふえたりということで、健康になるか、もしくは健康が害されるのが遅くなるかということをち

よっと二、三年かけて追跡しようと思っておりますので、何とかバスに乗せようというだけではなくて、本来の目的である市民の健康増進みたいなどころまで結びつくようなことを考えての上での新規事業と考えていただければと思います。

**○門脇分科会長** 今城委員。

**○今城委員** ぜひ、いい結果を残していただけるようにお願いします。

もう一つ、これはちょっと総括のときにも会派からお願いしたりしたんですけども、10ページの下の段の快適なバス待合環境応援補助金。金額的には100万ですので、上限いっぱいまでしたとしても2件程度の予測をしておられるのかなっていうふうには思っているところなんですけれども、実際、総括のときにもちょっと伺ったり、意見言いましたけれども、自治会で運営をさせていただいている公園のように、結局維持管理が5年先、10年先できなくなって、手を挙げちゃいましたっていうようなことにならないような仕掛けをちょっと、考えてくださってるかもしれないんですけども、まさにまた同じ轍を踏むんじゃないのって思うようなことを、わずか100万されど100万だと思うので、ちょっとそこら辺の仕掛けのこともしっかり考えていただいて、やっていただきたいかなっていうふうに思いますので、これは要望をしときたいと思います。

あと、もう一件、済みません、56ページなんですけど、伯耆古代の丘公園整備事業で、整備をしてきちっとした形で提供していきたいっていう思いはとってもよくわかりますので、これについてはあれなんですけど、実際問題、入園料無料化したということについての利用実績の変化みたいなのがあったのかっていうことと、この施設内の整備を行うことによって、この利用実績というのがどれぐらい上がっていくとかいうか、というようなことを想定とか試算とかしながらやっていることなのかをちょっと伺っておきたいと思います。

**○門脇分科会長** 橋井総合政策部次長。

**○橋井総合政策部次長兼淀江振興課長** 伯耆古代の丘公園の今年度の入園者数でございますけども、最新の部分で2月末現在で1万2,205名でございます。これは、昨年度、平成30年度1年間分から比べますと、大体1年間の4割増しぐらいといった方が多く入っていただいているという状況でございます。後ほど説明いたしますけども、一応伯耆古代の丘エリア活性化構想というものを、今、策定したところでございますけども、その中で公園の目標数値というものも設定しておりまして、毎年度4,000名ずつ増加するように努力しながら、5年後の令和6年度末には2万9,000名の入園者数を見込みたいというふうに頑張っていきたいというふうに思っております。以上でございます。

**○門脇分科会長** 次に、岡田委員。

**○岡田委員** 12ページの、先ほど石橋委員のほうからも質問がありましたけれども、この明日を創るふるさと教育推進事業ということで、米子西高さんと共同して実施をされるということなんですけども、令和2年度はこの形でということですけど、これはほかの県立高校とかにも広げるというようなもともと考えがあって、例えば令和2年度はこの米子西高なのか、それとも、とにかく令和2年度に米子西高とこれをやりますということだけなのか。何かあるんですかね、全体の構想みたいのものが。いかがでしょう。

**○門脇分科会長** 長谷川総合政策課長。

**○長谷川総合政策課長** このふるさと教育についてでございますけれども、米子市まちづくりビジョンのほうでも、幼少期から高校卒業、社会に出るまで、これを通じてのふるさ

と教育を進めていこうということで、まちづくりビジョンのほうにはうたわせていただきました。その中で、小中学校につきましては教育委員会のほうで取り組んでおるところでございませけれども、その次の高校生世代、これをどう取り組むかというところで、ビジョンに盛り込んで取り組んでいくんだということで進めておりましたけれども、ちょうどそこに西高からこういったことをしたいので一緒にできないかという投げかけがございました。ということで、まずは西高と一緒に進めさせていただきまして、高校生の探求の時間なりなんなりでのかかわり方、高校生向けのふるさと教育の進め方、こういったことをモデル的に実施をさせていただきまして、これをもとに、引き続きほかの高校にも進めていきたいとは考えておりますけれども、やはり高校ごとにいろんな授業の考え方、それぞれあるかと思っておりますので、それは個別に高校と協議をしながら広げていきたいというぐあいに考えております。以上です。

**○門脇分科会長** ほかにございませんか。

国頭委員。

**○国頭委員** これは、また事業別予算説明書のほうで見させていただいて、30ページの250目、ビジネス人材確保推進事業。安達さんが本会議でも質問されたと思うんですが、ちょっと聞き漏らしとったかもしれませんけども、東京圏ということで、これは議会のやりとりでもありましたか。東京圏って、東京都だけに限定でしたっけ、そのあたり。

**○門脇分科会長** 長谷川総合政策課長。

**○長谷川総合政策課長** この事業の対象者でございませけれども、東京23区にお住まいの方もしくは東京23区に通勤して働いておられる方のいずれかでございます。

**○門脇分科会長** 国頭委員。

**○国頭委員** なるほど。これは多分県からの補助が出てますんで、何か規定があるからなのかもしれませんけども、初年度なので見させていただきたいと思っておりますけど、やはり県支援があるということは、こういった規定があるってということですか。

**○門脇分科会長** 長谷川総合政策課長。

**○長谷川総合政策課長** この事業は、そもそも地方創生の取り組みでございませ。その地方創生の中で、国の大もとの考え方は、やっぱり東京一極集中の是正というような考え方もございませ。そういった中で、東京一極集中の中で、国の制度といたしましては、23区に過度に集中している状況を是正したいということがございませして、ここを対象としております。その関係で、地方創生の推進交付金が、これは財源の一部となっておるところでございませ。

そうはいつても、米子市といたしましては、東京一極集中という視点ではなくて、あくまで米子市としては移住定住の推進、それからビジネス人材、東京で働いておられますいろんな技能ですとか知識、そういった能力をお持ちの方もどんどん来ていただいて、こちらで働いていただきたいというようなことも効果として見込んでいるところでございます。以上です。

**○門脇分科会長** 国頭委員。

**○国頭委員** わかりました。東京に会社があつて働いておられる。でも、埼玉、神奈川、千葉っていう大きな首都圏の本社つていいですか、事業所等もあるので、私はそのあたりに住んで、勤めておられるつていうか、そういった人材も一緒にいいのではないかなと思

ったもので、ちょっと聞きました。拡大っていうことでしたら、また今後とも検討していただきたいと思います。以上です。

**○門脇分科会長** ほかにございませんか。

それでは、ないようですので、予算決算委員会総務政策分科会を暫時休憩いたします。

**午後 1 時 5 9 分 休憩**

**午後 4 時 0 4 分 再開**

**○門脇分科会長** それでは、予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。

分科会長報告のための意見の取りまとめを行います。御意見がありましたら発言をお願いいたします。

皆さんいろいろ言われた中で、これは分科会長報告に入れた方がいいんじゃないかということがございましたら。ございませんか。

〔「なし」と声あり〕

**○門脇分科会長** それでは、ないようですので、特になかった旨、報告させていただきますが、それでよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○門脇分科会長** それでは、以上で予算決算委員会総務政策分科会を閉会いたします。

**午後 4 時 0 4 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 2 9 条第 1 項の規定により署名する。

予算決算委員会総務政策分科会長 門 脇 一 男